

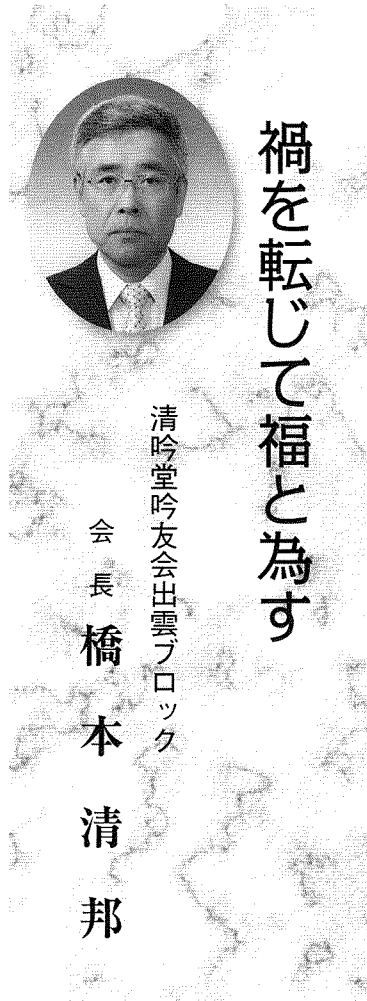
清吟堂吟友会 出雲ブロック会報

信 条

○詩歌を吟じて楽しんでみましょう
○詩歌を吟じて美しいみましょう
○詩歌をものを見出しましょう
○詩歌を吟じて明るいきましょう
郷土を築きましょう

発行 清吟堂吟友会出雲ブロック 広報部 第24号 令和2年6月1日

禍を転じて福と為す



清吟堂吟友会出雲ブロック

会長 橋本清邦

四月九日には山陰地方にも感染発生が確認され、身近に身の危険性を強く感じるようになってきました。

緊急事態宣言が全国に拡大され誰も先行きが見えない中で、今後の行事計画の進捗を心配していますが、大事なことは、新型コロナウイルスに対して正確な情報を取得して、注意をはらいながらも、うろたえないで過ごすことが肝要だと思います。

緊急時での自分を見失わないように、そして吟詠の基本習得等、目標をもって活動し、体調を維持しましょう。

「禍を転じて福と為す」ためには努力を継続していかなければなりません。

清吟堂吟友会信条をより広く、深く実践すべく、出雲ブロックの更なる活動の充実を図ってまいります。厳しい状況を乗り越えて、心豊かにより楽しく吟詠活動をしていきましよう。

引き続き今年度もご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

春光うらかな季節を迎え、皆様には益々ご清栄の趣、心からお慶び申し上げます。

令和元年度も会員の皆様のご支援ご協力により、楽しく充実した活動ができましたこと厚く感謝を申し上げます。

振り返ってみますと、全国吟詠コンクール中国大会では、当ブロックから初めて入賞者が誕生したこと、第六十六回清吟堂吟友会吟詠詩舞道大会においては合吟A部で実に十七年ぶりの快挙、優勝カップが出雲に来たこと、これらは、お互いが喜びを分かち合うことができた、今年度の活動につながる大きな成果でありました。

十月には朱鷺会館において開催しました「鳥根県東部地区寿栄大会」を当地区が担当し、百三十名の参加をいただき東部地区会員相互の親睦を誓う交

流ができました。

そして一月の新年賀会での吟詠詩舞は、清々しく新春を感じさせる素晴らしい発表でした。剣詩舞新会員さんの披露は、初々しく今後の活躍が楽しみです。

また、年間を通じて吟士権大会、各地区毎で開催の文化祭や芸能大会等のイベントに各支部から多数の会員が出演され、普段の成果を披露されましたこと喜ばしいかぎりです。

このように会が盛り上がり、更なる飛躍をと意気込んでいるところに、新型コロナウイルス感染が拡大し、連日のようにニュースで報じられるようになってきました。

育成会の中止、女性会員親睦交流会の中止は、全て準備が整い当日を待っていた矢先で、大変残念でなりません。

会員増強奨励表彰・新入会員紹介

令和二年一月二十六日(日)、出雲ブロック新年賀会において、会員増強に尽力された七名の方が、橋本ブロック会長より表彰を受けられました。続いて、新規入会者八名のうち六名の出席者から、入会の経緯等の自己紹介がありました。

表彰された方

- 石飛 雅風(ラピタ)
- 桑原 青風(蛇 島)
- 伊藤 寿記(清吟出雲)
- 中村 力男(国 富)
- 中嶋タイ子(富)
- 田畑 晴美(あじさい)
- 土江 麗松(西平田)

入会された方

- 勝部 信芳(ラピタ)
- 米月 拓朗(四 絡)
- 林 玲子(富)
- 久保田真理子(清吟出雲)
- 名原 絹代(あじさい)
- 影山 晴美(あじさい)
- 高尾美佐子(宍道・大田より)
- 伊藤 寿記(清吟出雲・復会)



令和二年度

出雲ブロック通常総会開催

全国的に新型コロナウイルス感染拡大防止の意識が高まる中、今年度の通常総会は、四月四日(土)、高浜コミュニケーションセンターにおいて、出席議員を役員、支部長に絞り、各人の席の間隔を空ける形で開催されました。

会議では、令和元年度の事業・決算報告と令和二年度の事業計画・予算案が審議され、全会一致で承認されました。

初めに橋本会長より昨年度一年間の会員の協力・支援に対し謝意が述べられました。

その中で、昨年度の出雲ブロックの特記として、全国吟詠コンクール中国大会初入賞者誕生、松山での清吟堂吟友会吟剣詩舞道大会の合吟の部で当ブロック優勝、更に島根県東部地区寿栄大会を、幹事ブロックとして、会員の協力のもと、朱鷺会館に多数の参加者を得て開催出来た事などの成果のまとめがありました。

また新年度に向けては、新型コロナウイルスにより各種行事が中止となり、出鼻をくじかれ残念であるが、今年度も楽しく元気な吟詠活動が行われる様、会員の皆様

の協力をお願いしたい旨の話がありました。

続いて、会則により会長を議長として議事に入り、コロナ禍の中、粛々と進行し、表題の審議、承認となりました。



島根東部地区寿栄大会を出雲市で開催



寿栄部長 石飛雅風

令和元年十月十三日出雲ブロックを幹事として、出雲市「朱鷺会館」で開催されました。安来地区・松江地区および出雲地区から、百三十有余名の参加を頂き盛大に行われました。

二神鶯風大会委員長の開会宣言に始まり、国歌斉唱、信条・会誌吟吟と続き、会場いっぱい元気な声が響き渡りました。

その後は、各地区代表による十二組の合吟の発表が行われ、日頃の練習成果を遺憾なく発揮されました。吟詠発表の最後には、二神寿栄局長、宮内会長の本部役員吟詠により花を添えて頂きました。

続いて行われた懇親会では、アトラクションが稗原支部吉田麗篤さんグループの銭太鼓を皮切りに、次々とカラオケ、各地区からの出し物などが続き、終始賑やかで和やかな時間を過ごすことができました。最後になりましたが、出雲ブロック若手役員の皆様には今大会の準備・運営他大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの発生により各種の行事の中止が相次いでいますが、日々精進を重ね、再開されることを信じて頑張りましょう。



稗原支部吉田麗篤さんほか有志による銭太鼓



ラピタ・清吟出雲・蛇島・神西・今市支部の皆さん

令和2年度 出雲ブロック行事予定

令和2年4月1日

月日	行事	場所
4/ 4(土)	ブロック通常総会・ブロック支部長会	高浜コミュニティセンター
4/12(日)	全国吟詠コンクール島根県大会 中止	島根県民会館
4/26(日)	審査員研修会 10/17(土)に延期	島根東部
5/ 2(土)	ブロック支部長会	
5/24(日)	本部常任理事会・本部通常総会	松山いよてつ会館
6/ 6(土)	ブロック支部長会	
6/21(日)	吟士権出雲地区吟詠大会	斐川文化会館
7/ 4(土)	ブロック支部長会	
7/19(日)	(財)全国吟詠コンクール中国大会 中止	倉敷児島市民交流センター
7/26(日)	島根県東部吟士権決勝並びに指導者吟詠大会	松江市
8/ 1(土)	ブロック支部長会	
8/ 1(土)	第1回会員増強対策会議	
8/23(日)	吟士権並びに指導者決勝大会	松山市
8/23(日)	(財)中国地区吟詠特別研修会	広島安芸
9/ 5(土)	ブロック支部長会	
9/13(日)	特別研修会	島根県
9/27(日)	第67回清吟堂吟友会吟剣詩舞道大会	松山市民会館
10/ 3(土)	ブロック支部長会	
10/ 4(日)	(財)西日本少壮吟士吟詠チャリティリサイタル	倉敷市民会館
11/ 7(土)	ブロック支部長会	
11/28(土)	出雲地区段位審査会	ニューウェルシティ出雲
12/ 5(土)	ブロック支部長会	
1/ 9(土)	ブロック支部長会	
1/24(日)	ブロック新年賀会	ニューウェルシティ出雲
2/ 6(土)	ブロック支部長会	
2/ 6(土)	第2回会員増強対策会議	
3/ 6(土)	ブロック支部長会	
3/ 7(日)	令和2年度育成吟詠出雲地区大会	斐川文化会館

令和2年度 出雲ブロック役員

令和2年4月1日

役職名	部長	副部長
会長	橋本 清邦	
副会長	高野 公風	
副会長	桑原 青風	
副会長	佐藤 麗雪	
事務局長	高橋 充男	
事務局 事務担当部	錦織 勇	板垣 麗香
// 育成担当部	原 實風	三成 俊風
// 吟士権担当部	石飛 海風	増田 昇風
// 段位担当部	橋本 清邦	来間 来風
// 寿栄担当部	石飛 雅風	石飛 夏風
// 会計担当部	矢田 麗実	坂本 麗真
指導研修局長	荒木 麗幸	佐藤 麗雪
指導研修局 伴奏担当部	曾田 麗翠	安部 麗雨
// 剣詩舞担当部	土江 麗松	吉田 滉風
組織運営部	橋本 清邦	岩谷 麗芙
女性部	吉田 麗篤	飯谷 麗和
広報部	樋野 朝生	石崎 郷風
会計監事	布野 年風	
会計監事	平野 麗美	
常任顧問	高田 清慶	
常任顧問	土江 清真	
常任顧問	森山 清雲	

令和元年度 各支部対外発表一覽

(出雲ブロックのホームページにも掲載しています)

日付	支部名	行事名	会場	発表内容
9月22日	稗原 八名	稗原戦没者慰霊祭	稗原コミセン	九段の桜 英霊の御前に 暁に発す 早に白帝城を発す 坂本龍馬を思う (剣舞付)
10月6日	稗原 四名	稗原地区敬老大会	稗原小学校	日本賛歌 中秋の月(詩舞付) 古城
10月13日	里方 里方第二 主体七名	高浜地区総合文化・農業まつり	高浜コミセン	初春の祝賀の詞
10月13日	斐川 主体六名	出西地区文化祭	出西コミセン	初春の祝賀の詞
10月20日	神名火 神名火第二 六名	莊原地区文化祭	莊原コミセン	萬鶴樓にて蕪紫の広陵に之を参る 不識庵機山を撃つのに題す 吟詠・剣舞・詩舞 当ブロックホームページに動画掲載
11月17日	出雲ブロック 有志十二名	下赤名 福祉まつり	赤名農村環境改善センター	初春の松竹梅 祝賀の詞
11月17日	斐川町三支部 平野第二・富なでしこ 十二名	斐川文化祭	斐川文化会館	



2019, 10, 13
里方・里方第二支部 高浜文化・農業まつり



稗原支部・戦没者慰霊祭



神名火・神名火第二支部 莊原地区文化祭



2019/10/13
斐川支部・出西地区文化祭

令和元年度 各種吟詠大会結果並びに本部表彰

●全国吟詠コンクール中国大会

一般二部 入賞 曾田 麗翠(平田第二)

●島根県東部吟士権決勝・指導者大会

新人準初段の部 佳吟 後藤 寿江(琴引第二)

二段の部 優勝 大野 利夫(ラピタ)

三段の部 入賞 吾郷須磨子(頓原)

佳吟 福島 亘(里方第二)

寿栄一部 入賞 石飛 雅風(ラピタ)

四段の部 優勝 加谷真理子(吉場)

準優勝 児玉 春雄(稗原)

五段の部 入賞 高橋 麗梢(御衣黄)

六段の部 優勝 若林 麗恒(里方)

佳吟 三原 皓風(出雲中央)

七段の部 優勝 平井 麗翠(里方)

優 勝 安部 麗雨(琴引第二)

準優勝 勝部美穂子(琴引)

入賞 曾田 麗翠(平田第二)

指導者五部 準優勝 桑原 青風(蛇島)

入賞 本田 麗民(西平田)

佳吟 藤原 麗映(西平田)

●吟士権本部決勝大会 寿栄一部 優勝 石飛 雅風(ラピタ)

四段の部 優勝 加谷真理子(吉賀)

佳吟 児玉 春雄(稗原)

六段の部 佳吟 若林 麗恒(里方)

指導者五部 佳吟 桑原 青風(蛇島)

●第六十六回清吟堂吟友会吟剣詩舞道大会 合吟コンクール A部 優勝 出雲ブロック

表彰 運営功労者感謝状 平野 麗美(西平田)

長寿会員表彰 須田 麗香(神名第二)

三十年会賞精励表彰 本田 麗民(西平田)

趣味拝見コーナー

種別ごとに作者五十音順・本部会報「清吟」に依い本名としました。

短歌

里方支部 吉川 京子

○世界中ココナウイルス蔓延す 見えない脅威なぜなぜと問う

○桐の樹の成長の早し伐採され 道端でなお咲く花あわれ

斐川支部 小中 寛

○風走る荒磯に碎ける波の間に ちぎれ飛び交うウミネコの群れ

○潮鳴りか砂の戯れ風の音 ひゅ うひゅうゴーゴー 神の来る浜

たんば支部 増田 登

○つぎつぎと大型店の開店で 渋滞場所がその都度変わる

○お父さん電話口から聞く声は 父になったり爺になったり

俳句

琴引第二 安部 豊枝

○車中泊 雪代山女 開禁日

○春風が 鉄の扉を 開けて行く

ラピタ支部 石飛 勝

○新天地 風花払う 新スーツ

○好日も 瞬きのこと 夢見草

川柳

ラピタ支部 石飛 勝

○孫ふたり 平成の世の 贈り物

○やる気ON 春一番に 背を押され

今市支部 今岡 健

○幸せが 降ってきそうな 青い空

○足し算と 引き算上手 母の知恵

今市支部 佐野美和子

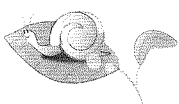
○きつと来る 明日を信じて 前進む

○おしゃべりで 脳も心も 艶が出る

たんば支部 増田 登

○気持だけ 若いつもりの 落とし穴

○歳だから 便利な言葉 使いわけ



お寺の檀家さんを前に

吟詠を披露

平田東支部

橋本清邦

令和元年十一月十二日の御会式に、詩吟を披露してもらえんかと任職に頼まれた。檀家の皆さんに詩吟を知っていただけるなら、との思いで引き受けた。

二分で終わるわけにもいかず考えた末に、過去に練習したことのある吟題をもとに、構成吟をすることにしました。

出雲大社のお膝元であるから、神と出雲平野から発想を飛ばし、「神の国、美



しい日本」とし、吟題選定とテーマのナレーションを考えながら、原稿を四苦八苦しなから作成した。(清吟堂吟友会吟剣詩舞道大会、出雲ブロックの四十周年大会構成吟ナレーションも、参考に用いさせていだいた)

- 1、富士山
- 2、出雲大社
- 3、俳句「神集う」
- 4、日本讃歌
- 5、これから音頭(松江城山第二支部さんの人生が元気になる音頭)

発表当日は、吟詠の未熟さをカバーするため、和服を着込んで、それぞれの詩歌を横造紙に書き写して置いたのを、お寺のボードに貼り付け、朗読し、通釈し、ナレーションを入れながら、そして吟じた。最後

に「これから音頭」の詩を皆さんと唱和して閉じた。

「わたしたちは、神の国の中で暮らしている、なんと日本は素晴らしいのだからか！」を伝えたかったが、原稿を見てのおしゃべりで、しどろもどろの中、詩吟も今ひとつ。最後は声も苦しくなった。

初めての試みで、皆さんに漢詩の内容と詩吟が理解していただけたかどうか、疑問は残る。愉快に楽しくも演出したつもりだが、思いが届いていないと反省しきり。

「あれが詩吟かね」とは、言っていた。あなたはい、いい趣味があった。いいねえ」とも言っていた。

これからは、感動を伝えられるような吟詠と達者なおしゃべりが披露できるよ、さらに精進して行きたい。約四十〜五十名の方、最後まで残って静吟していただき感謝です。

下赤名福祉祭りに感謝を込めて



御衣黄支部

杉原麗蓮

下赤名福祉祭り(飯石

郡飯南町…令和元年十一月

十七日開催)への出演依頼

を頂き、清吟堂吟友会出雲

ブロック、紫雲館吾妻流出

雲・松江ブロック総勢十六

名で五十分間の構成吟を披

露しました。

松江ブロック須藤李翠先

生による春夏秋冬をテーマ

とした構成吟は、吟剣詩舞

に馴染みのある方はもちろ

ん、初めて観る方にも分か

りやすく、後日「すばらし

かった。初めて観ただけど

楽しめた。良い方たちに来

てもらった。」と、地元か

ら大好評をいただきました。

地元の皆様に真剣に観て

頂き、感動していただけた

事、自分たちの力で成し遂

げられたこと、全てが良い

経験となりました。

当日は、出雲ブロックか

ら橋本会長、土江顧問を始

め、たくさんの方に応援に

来て頂き、とても心強かつ

たです。(緊張もしました

が…)

そして、何より、一緒に

出演した先生方、先輩方、

仲間には、感謝の気持ちで

いっぱいです。

私自身も今までにない大

きな機会を頂き、プログラ

ム作り、地元役員さんとの

諸連絡等、不手際が無いか、

最後まで、心配が続きまし

た。

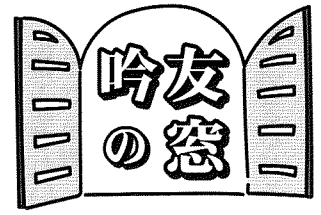
今後、この経験を基に、

吟剣詩舞を拡く知って頂け

るよう、頑張っていけます。

ご声援、ご協力、本当にあ

りがとうございました。



令和元年9月 吟友GG優勝

蛇島支部

桑原青風



優勝の栄冠を手中にした方は、高橋信行さん（蛇島支部）四十八打ワン二個で、丸山達也新知事から優勝杯が授与され、笑顔で固い握手を交わされました。

また翌々九月八日には、第十四回平成温泉杯GG大会が、平成温泉GG場（公認コース・天然芝）で行われ、参加者三百余名が技を競い、橘誠一さん（今市支部）が、二十八打ワン二個で見事優勝されました。お二人とも誠におめでとうございませう。

中一日置きで行われた二つの大きな大会で、我々の吟友から二人の優勝者が出ました。

お二人とも、年齢・吟歴が近く、吟を楽しみながらスポーツも熱心です。

出雲支部GG協会の役員でも活躍され共通項の多い方です。

これから益々のご活躍をお祈りし、会員の皆様にご紹介を致します。

令和元年九月六日、第一回島根県知事杯GG大会が、県立浜山陸上競技場と球技場（天然芝コース）で開催され、参加者七百六十名が熱戦を繰り広げました。

青年吟剣詩舞道研修会に参加して



平田東支部

橋本泰明

昨年六月二十九日、千葉県県成田市で行われた青年吟剣詩舞道研修会に参加しました。

これまでの「吟剣詩舞道大学」とは別物として、新たに「研修会」を開催した経緯について、「より幅広く受講生を迎え、新たな試みに挑戦する」という思いが込められているとのことでした。

実際に参加してみた感想

として、非常にバラエティに富んだ内容でした。

詩吟と剣詩舞の二組に分かれ、各財団の先生方ももちろん、ボイストレーナーやスポーツトレーナーの方を迎え、多方面からの講習を頂き、とても刺激になりました。

また実習もユニークで、詩吟の組は、スパーチームによる「川中島の戦い」の合吟に、グループで挑戦

したり（何と指導はスパーチーム直々でした！）、剣詩舞の組は、和楽器バンドの楽曲を踊ってみたいと、普段の詩吟の教室では味わえない楽しさがありました。

また、二日目のデイスカッションでは、他流派の方々とお話することができ、それぞれの特徴や詩吟の全体の今後について、熱く盛り上がることができました。

周りはだれも知らない人ばかりで、うまく溶け込めるか心配でしたが、とても充実した二日間になりました。

詩吟に魅せられて



国富支部

清水睦子

小学生の頃読んだ漫画の「コマが強く残っています。戦い終わった武士が、鞭

声粛々」と言いつつ去る姿がとても格好良く、魅せられてしまったのです。歌

ではないなと思ったのですが、成長するにつれ、あれは詩吟というものだど理解するようになりました。

詩吟同好会に出会ったのは大学生の時でしたが、都合が合わず入会できませんでした。退職後、公民館に

詩吟同好会ができるというチラシを見て即入会。入会一年目に先生から教えていただいた「不識庵機山を撃つ」の図に題す」が、あの小学生の頃見た漫画の詩吟、漢詩でした。私の大好きな吟題です。

詩吟は奥が深く、自分の課題が次々と立ちはだかっ

て、いつまでも信条の①しかできていません。でも、詩吟を始めてから以前より漢詩をいろいろ知り、より漢詩を好きになりました。良き仲間にも恵まれて飽きっぽい私が七年も続けているのは、詩吟に魅せられているからだと思えます。

詩吟と私



里方第二支部
常松悦子

私が詩吟を始めたのは、平成二十八年八月友達に誘われ体験に行ってからで、三年半になります。続ける気持ちはなかったです。

でも、先生がきれいな声で吟じられると、次回も行くのかなと思えました。私は後期高齢者だし、漢詩が覚えられるだろうか、音痴な私にできるだろうかと不安はありましたが、入

会しました。今は里方の教室の皆さんと一緒に練習しています。入会后、先生から大きな声を出すこと、のど声や裏声にならぬよう、お腹から遠くへ声を出すように言われたけど、思うように出来ませんでした。

ところが、先生は、へたな吟を聞きながら、いつも初めに一言ほめてくださる

ので、やる気が出ました。初めて地区大会に出ると、皆さんがすごく上手で、自分は駄目だ、上達もしないし、落ち込みました。

もう詩吟をやめようという回も思いました。でも教室の先輩のKさんが、「みんながそんな経験をして今があるよ。練習すれば上手になるよ。」と言われ、気持ち軽くなりました。

またYさんは、帰りの車に乗る前に、「アクセントをつけるといいよ。」と教えてくれました。先生と教室の皆さんに助けられ、今は詩吟が楽しくなりました。

もう一つ詩吟をして良かったのは、私は気管が弱く、季節の変わり目に咳込むことがよくあり困っていましたが、詩吟をするようになったら咳込むこともなくなり、ほんとに良かったです。

これからも一生懸命練習に励み、詩吟を続けていきたいと思えます。

あとがき

医学も発達したこれだけの文明社会で、目に見えないウイルスに、世界中の日常生活がこれほどに翻弄される脆さがあったとは。

今後も頻度を増して発生するのではという、感染症の不気味さ・脅威を感じている人も多いのではないのでしょうか。

この様な状況のもと、三月の育成吟詠大会の中止があり、その後各教室での詩吟の練習も、自粛でままならない異例の状況かと存じます。

詩吟で必要とされる腹式の大きな長い呼吸は、血流促進、肺活量上昇で、ウイルスを防御する免疫力向上に有効とされ、我々も実感できる場所です。早く正常化し、大声を上げてストレス発散といきたいものです。

今回は、趣味拝見コーナーで、詩吟に加えて短歌・俳句・川柳の文芸に趣味をお持ちの方に、ご登場頂きました。多くの作品をお寄せいただき有難うございました。

(広報担当)

☆☆ホームページ更新のご案内☆☆

会報発行により、清吟堂吟友会出雲ブロックのホームページを6月中旬に更新します。アドレス等は以下。

s-ginyukai-izumo.la.cocacn.jp
(エルエー)

yahooやgoogleの検索サイトで清吟堂吟友会出雲または詩吟出雲で検索すれば当ブロックホームページにアクセスできます。

